

「平成21年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

の結果における長野県の状況について（概要版）

スポーツ課

調査の概要

1 調査主体

文部科学省

2 調査目的

- (1) 子どもの体力が低下している状況にかんがみ、国が全国的な子どもの体力の状況を把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、学校等が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

3 調査期間

平成21年4月から7月末までの期間

4 対象学年

小学校第5学年、中学校第2学年

5 本県の実施状況（公立学校分のみ集計）

公立小学校	...	67.6% (386校中261校)					
			男子7,081人	女子6,597人	計	13,678人	
特別支援学校小学部	...	5.6% (18校中1校)					
			男子4人	女子0人	計	4人	
公立中学校	...	67.2% (192校中129校)					
			男子6,336人	女子6,066人	計	12,402人	
特別支援学校中学部	...	16.7% (18校中3校)					
			男子11人	女子3人	計	14人	
			男子13,432人	女子12,666人	計	26,098人	

6 調査内容

(1) 児童・生徒に対する調査

実技に関する調査項目

- [小学校8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、
20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ
- [中学校8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、
持久走（男子1500m、女子1000m）または20mシャトルラン、
50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ

質問紙調査項目

運動習慣、生活習慣、食習慣等に関する質問紙調査

(2) 学校に対する質問紙調査

学校における体育、保健体育の指導及び特別活動等に関する質問紙調査

7 公表

平成21年12月17日

調査結果の概要

1 今年度の児童生徒の状況

(1) 体力・運動能力について

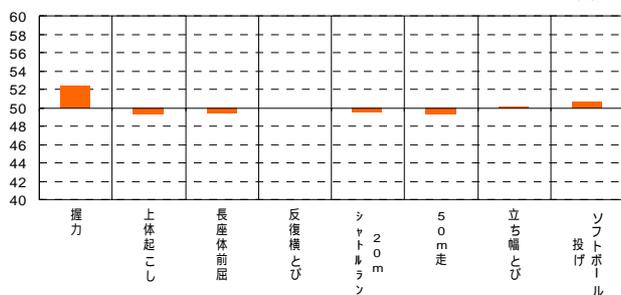
本年度の比較

網掛けは全国平均と同じ、もしくは上回ったもの

小学校 男子				中学校 男子			
調査項目	全国	長野県	差	調査項目	全国	長野県	差
握力(kg)	16.96	17.84	0.88	握力(kg)	29.82	30.03	0.21
上体起こし(回)	19.28	18.90	-0.38	上体起こし(回)	26.73	26.44	-0.29
長座体前屈(cm)	32.55	32.06	-0.49	長座体前屈(cm)	42.91	42.92	0.01
反復横とび(点)	40.81	40.82	0.01	反復横とび(点)	50.50	48.55	-1.95
20mシャトルラン(回)	50.08	49.04	-1.04	持久走(秒)	396.19	402.04	-5.85
50m走(秒)	9.37	9.44	-0.07	20mシャトルラン(回)	83.27	79.74	-3.53
立ち幅とび(cm)	153.64	153.89	0.25	50m走(秒)	8.05	8.07	-0.02
ソフトボール投げ(m)	25.41	25.87	0.46	立ち幅とび(cm)	194.62	195.92	1.30
体力合計点(点)	54.19	54.21	0.02	ハンドボール投げ(m)	21.27	22.00	0.73
				体力合計点(点)	41.36	41.04	-0.32

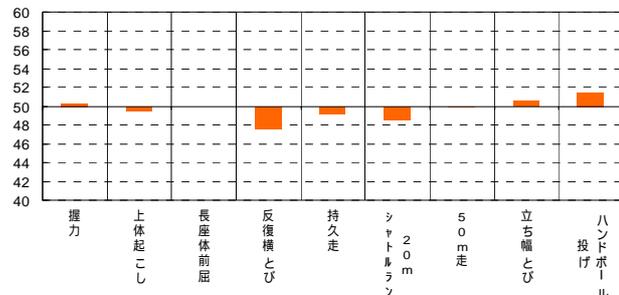
体力T得点(男子)

■長野県



体力T得点(男子)

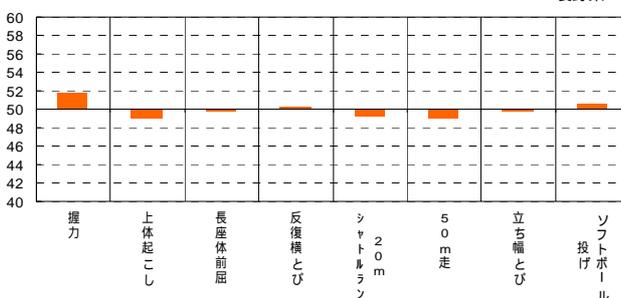
■長野県



小学校 女子				中学校 女子			
調査項目	全国	長野県	差	調査項目	全国	長野県	差
握力(kg)	16.35	17.03	0.68	握力(kg)	23.98	23.94	-0.04
上体起こし(回)	17.65	17.07	-0.58	上体起こし(回)	22.08	21.09	-0.99
長座体前屈(cm)	36.62	36.44	-0.18	長座体前屈(cm)	44.39	44.39	0.00
反復横とび(点)	38.48	38.63	0.15	反復横とび(点)	44.56	42.05	-2.51
20mシャトルラン(回)	38.73	37.36	-1.37	持久走(秒)	294.25	302.64	-8.39
50m走(秒)	9.64	9.73	-0.09	20mシャトルラン(回)	56.35	52.22	-4.13
立ち幅とび(cm)	145.11	144.77	-0.34	50m走(秒)	8.90	8.97	-0.07
ソフトボール投げ(m)	14.62	14.94	0.32	立ち幅とび(cm)	166.02	163.72	-2.30
体力合計点(点)	54.59	54.42	-0.17	ハンドボール投げ(m)	13.40	13.64	0.24
				体力合計点(点)	47.94	46.28	-1.66

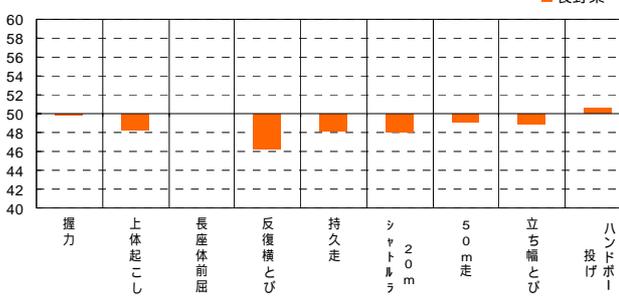
体力T得点(女子)

■長野県



体力T得点(女子)

■長野県

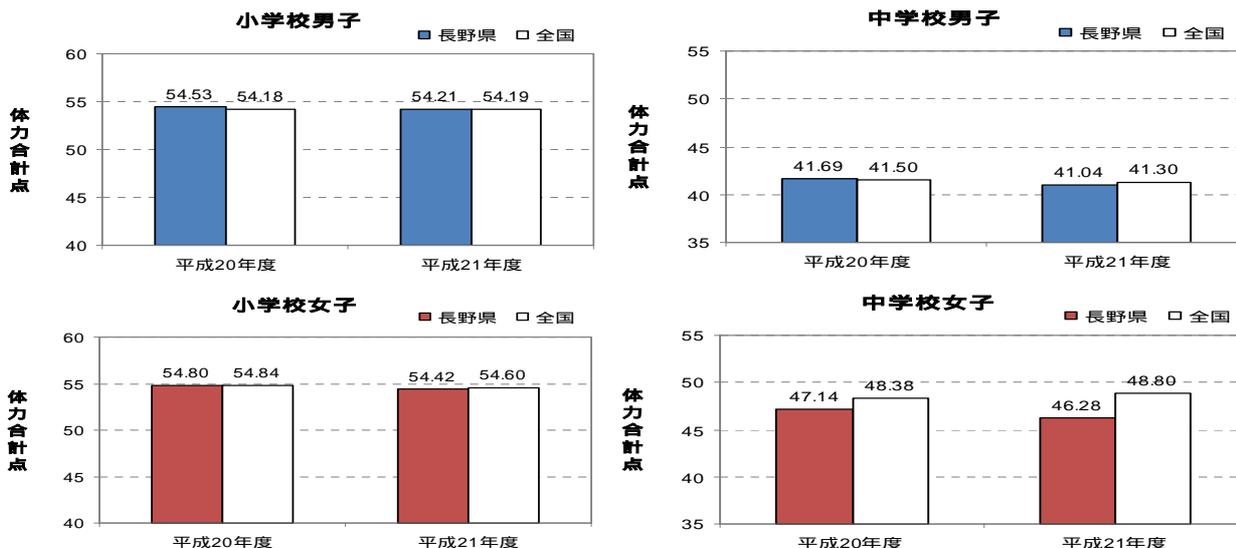


ア ポール投げ(小学生はソフトボール、中学生はハンドボール)の記録が、小学校男女、中学校男女とも、全国平均を上回った。握力は小学校男女、中学校男子で全国平均を上回った。

イ 上体起こし、20mシャトルラン、50m走の記録は、小・中学校男女とも、全国平均を下回った。

ウ 体力合計点については、小学校男子は全国平均を上回り、小学校女子と中学校男女は全国平均を下回った。

昨年度との比較



網掛けは当該年度で全国平均と同じ、もしくは上回ったもの

小学校 男子				中学校 男子			
調査項目	20年度	21年度	差	調査項目	20年度	21年度	差
握力(kg)	17.91	17.84	-0.07	握力(kg)	30.48	30.03	-0.45
上体起こし(回)	18.80	18.90	0.10	上体起こし(回)	26.83	26.44	-0.39
長座体前屈(cm)	32.74	32.06	-0.68	長座体前屈(cm)	43.26	42.92	-0.34
反復横とび(点)	41.39	40.82	-0.57	反復横とび(点)	48.83	48.55	-0.28
20mシャトルラン(回)	47.41	49.04	1.63	持久走(秒)	401.35	402.04	-0.69
50m走(秒)	9.44	9.44	0.00	20mシャトルラン(回)	79.54	79.74	0.20
立ち幅とび(cm)	155.03	153.89	-1.14	50m走(秒)	8.03	8.07	-0.04
ソフトボール投げ(m)	26.39	25.87	-0.52	立ち幅とび(cm)	197.17	195.92	-1.25
体力合計点(点)	54.53	54.21	-0.32	ハンドボール投げ(m)	22.35	22.00	-0.35
				体力合計点(点)	41.69	41.04	-0.65
小学校 女子				中学校 女子			
調査項目	20年度	21年度	差	調査項目	20年度	21年度	差
握力(kg)	17.00	17.03	0.03	握力(kg)	24.44	23.94	-0.50
上体起こし(回)	17.11	17.07	-0.04	上体起こし(回)	21.68	21.09	-0.59
長座体前屈(cm)	36.90	36.44	-0.46	長座体前屈(cm)	44.49	44.39	-0.10
反復横とび(点)	38.70	38.63	-0.07	反復横とび(点)	42.24	42.05	-0.19
20mシャトルラン(回)	36.70	37.36	0.66	持久走(秒)	299.10	302.64	-3.54
50m走(秒)	9.71	9.73	-0.02	20mシャトルラン(回)	51.56	52.22	0.66
立ち幅とび(cm)	146.36	144.77	-1.59	50m走(秒)	8.93	8.97	-0.04
ソフトボール投げ(m)	15.47	14.94	-0.53	立ち幅とび(cm)	164.41	163.72	-0.69
体力合計点(点)	54.80	54.42	-0.38	ハンドボール投げ(m)	14.03	13.64	-0.39
				体力合計点(点)	47.14	46.28	-0.86

ア 体力合計点は、平成20年度に比べて、小学校男女はほとんど変わらず、中学校男女はわずかに下がった。

イ 握力の記録が小学校男女、中学校男子は2年連続で全国平均を上回った。一方、20mシャトルラン、持久走の記録は小学校男女、中学校男女とも2年連続で全国平均を下回った。

実技に関する調査の結果からみえる長野県の状況

- 1 長野県の児童生徒の体力を全国と比べると、小学校男子は上回り、小学校の女子と中学校の男女は下回った。
- 2 長野県の児童生徒の体力は、筋力、巧緻性(巧みに動ける力)・筋パワー(瞬発力)がある一方、全身持久力や敏捷性に課題が残る。

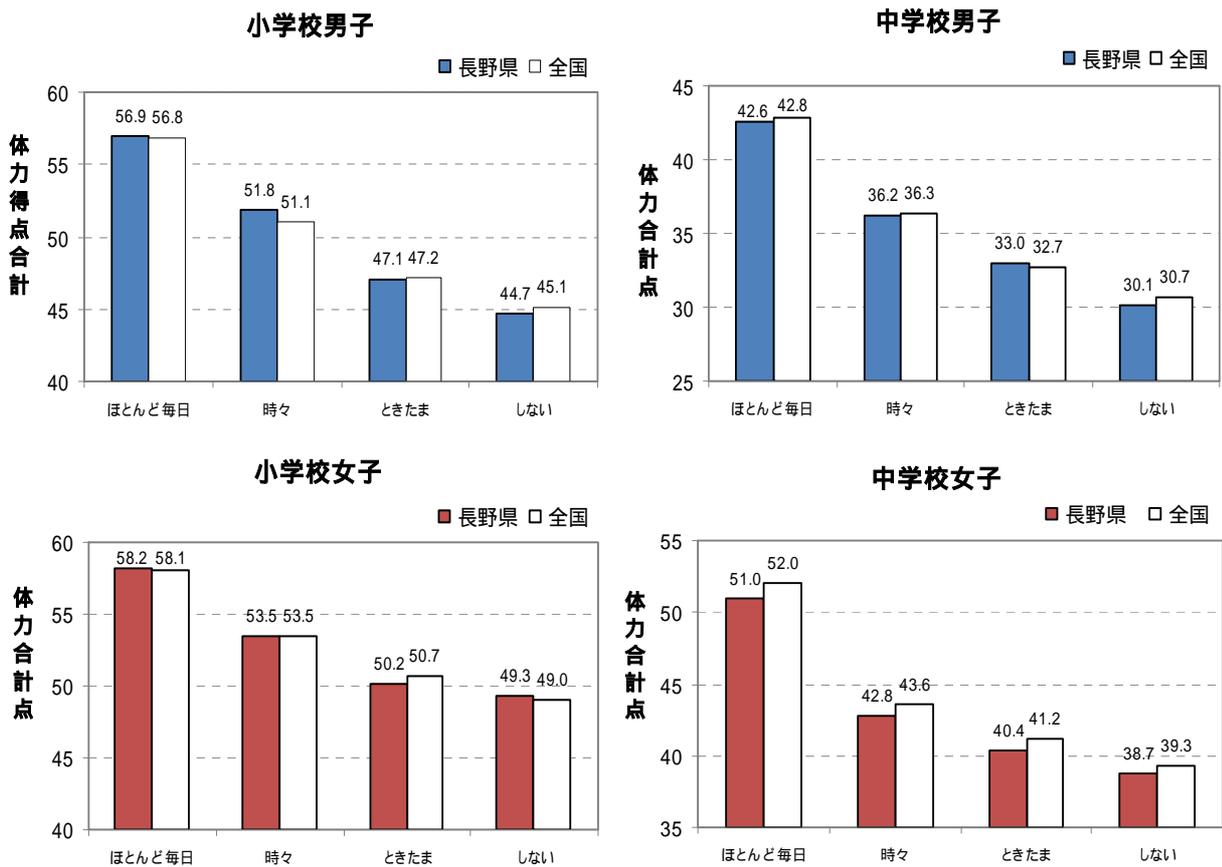
(2) 運動習慣、生活習慣について

運動習慣について

《運動・スポーツの実施状況》

Q5 運動・スポーツの実施状況(%)		1. ほとんど毎日 (週3日以上)	2. 時々 (週に1~2日)	3. ときたま (月に1~3日)	4. しない	Q6 運動・スポーツの実施状況(%)		1. ほとんど毎日 (週3日以上)	2. 時々 (週に1~2日)	3. ときたま (月に1~3日)	4. しない
小学校男子	全国	61.4%	28.5%	6.6%	3.6%	中学校男子	全国	83.1%	7.7%	4.4%	4.7%
	長野県	57.6%	32.7%	6.6%	3.2%		長野県	81.5%	8.0%	4.9%	5.6%
小学校女子	全国	37.1%	44.7%	12.7%	5.5%	中学校女子	全国	61.1%	12.2%	12.4%	14.3%
	長野県	33.6%	47.4%	13.9%	5.2%		長野県	54.0%	14.4%	15.1%	16.5%

運動・スポーツの実施状況と体力合計点の関連



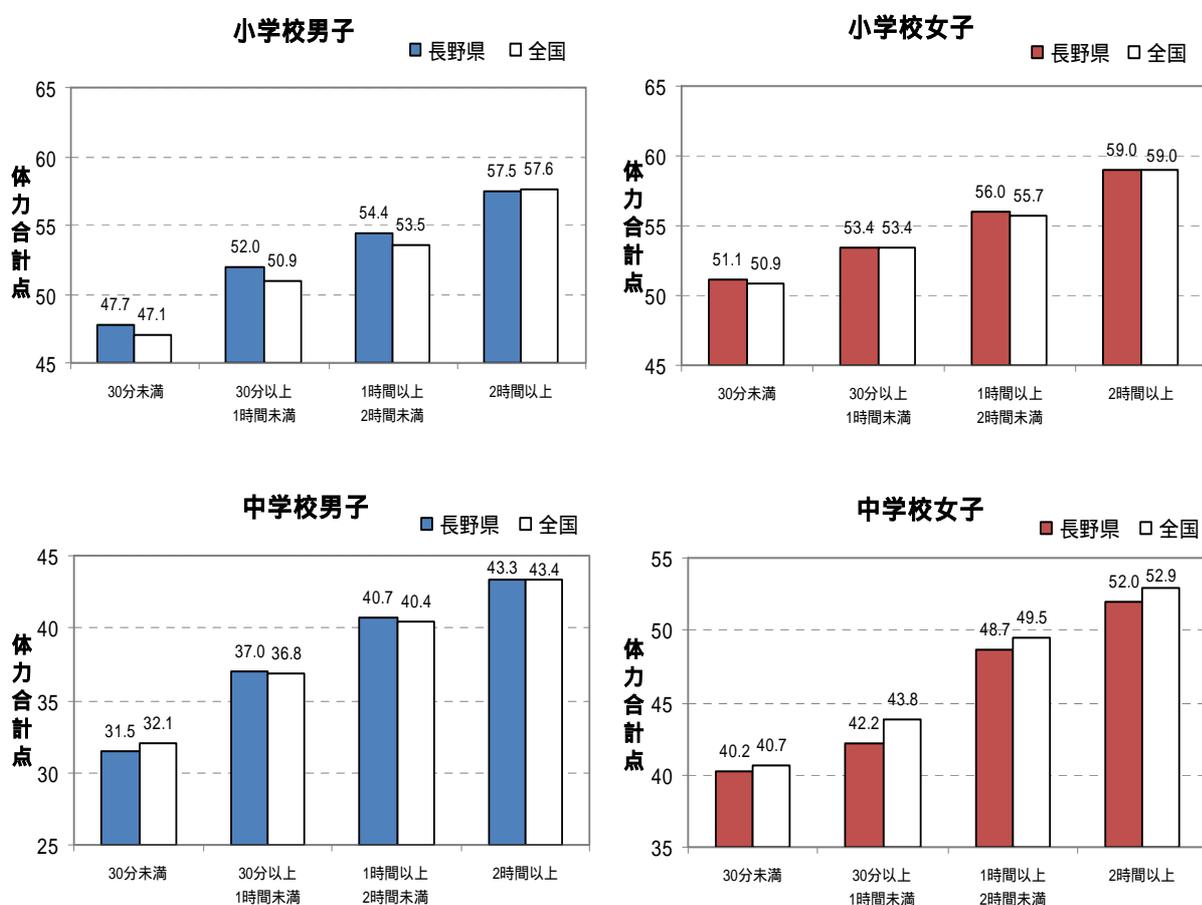
ア 「ほとんど毎日」と「時々」と回答した割合は、小学校男女、中学校男子でほぼ全国平均と同様であるが、中学校女子はやや低くなっている。

イ 小・中学校男女とも、運動の実施状況が高いほど、体力合計点が高くなる傾向がみられた。

《1日のスポーツ実施時間》

Q6 1日のスポーツ実施時間(%)		1.30分未満	2.30分～1時間	3.1時間～2時間	4.2時間以上	Q7 1日のスポーツ実施時間(%)		1.30分未満	2.30分～1時間	3.1時間～2時間	4.2時間以上
小学校男子	全国	11.7%	17.1%	25.1%	46.1%	中学校男子	全国	9.2%	6.0%	20.8%	63.9%
	長野県	13.3%	20.7%	25.9%	40.1%		長野県	11.1%	6.6%	24.3%	58.0%
小学校女子	全国	23.8%	28.5%	25.3%	22.4%	中学校女子	全国	29.0%	8.9%	17.3%	44.7%
	長野県	27.6%	29.7%	22.8%	19.9%		長野県	35.7%	10.5%	16.1%	37.6%

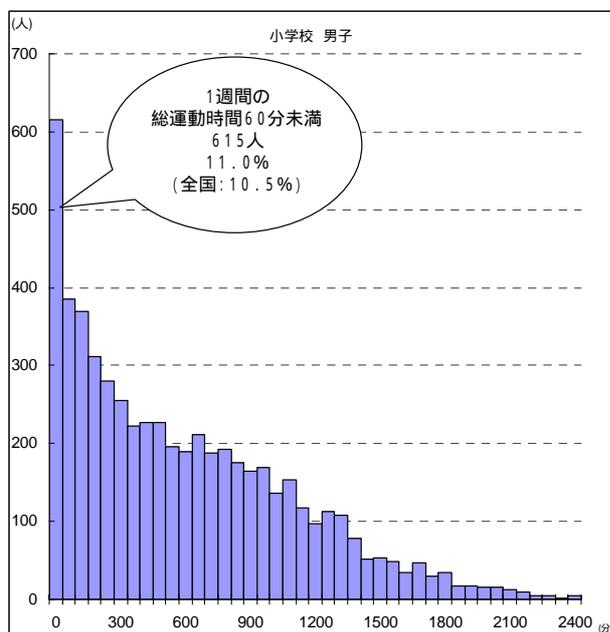
1日のスポーツ実施時間と体力合計点の関連



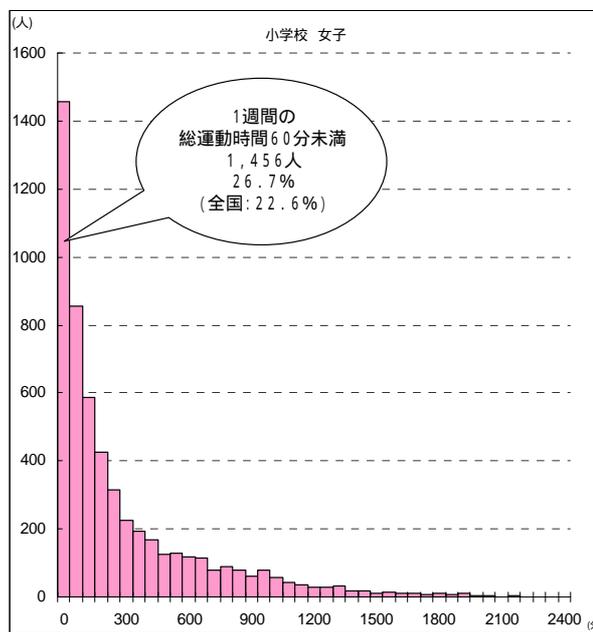
- ア 小・中学校男女とも、「2時間以上」と回答した児童生徒の割合が、全国平均を下回った。また、小・中学校男女とも、「30分未満」と回答した児童生徒の割合が全国平均を上回った。
- イ 小・中学校男女とも、1日の運動時間が長いほど体力合計点が高い傾向が見られた。

《1週間の総運動時間》

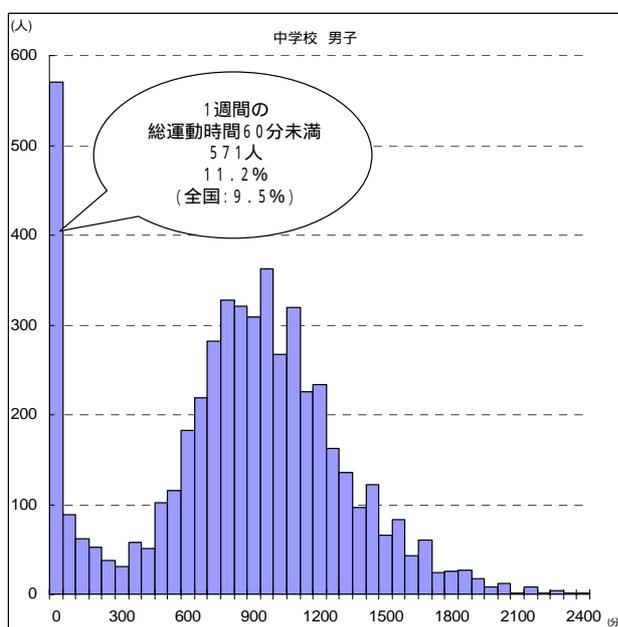
小学校 男子



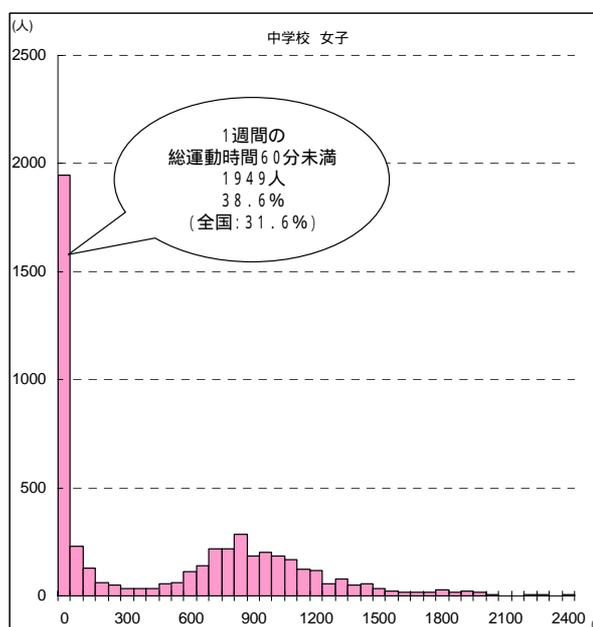
小学校 女子



中学校 男子



中学校 女子



ア 1週間の総運動時間では、中学生で運動する子どもとしない子どもの二極化がみられた。また、女子については、小学生で26.7%、中学生で38.6%の子どもが1週間の総運動時間が60分未満であり、全国と比べてその割合が高い。

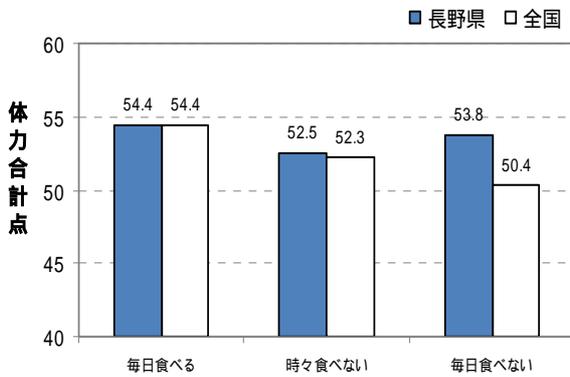
生活習慣について（朝食の有無・睡眠時間・テレビ視聴時間）

《朝食の有無》

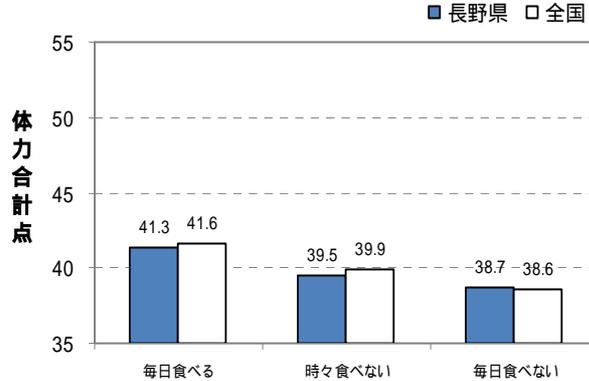
Q7 朝食の有無(%)		1. 毎日食べる	2. 時々食べない	3. 毎日食べない	Q8 朝食の有無(%)		1. 毎日食べる	2. 時々食べない	3. 毎日食べない
小学校男子	全国	89.3%	9.9%	0.8%	中学校男子	全国	84.2%	13.1%	2.8%
	長野県	90.9%	8.6%	0.5%		長野県	87.0%	10.7%	2.3%
小学校女子	全国	91.2%	8.3%	0.5%	中学校女子	全国	84.0%	13.9%	2.1%
	長野県	93.3%	6.4%	0.4%		長野県	86.7%	11.5%	1.7%

朝食の有無と体力合計点の関連

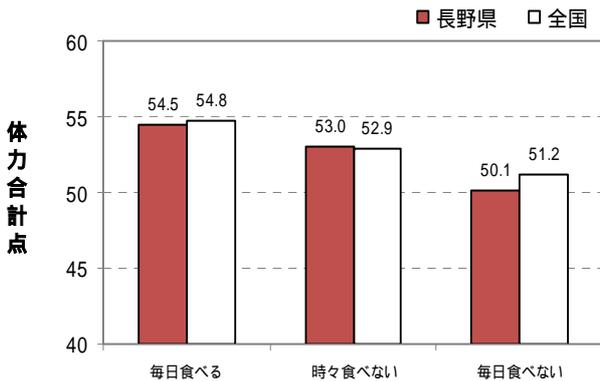
小学校男子



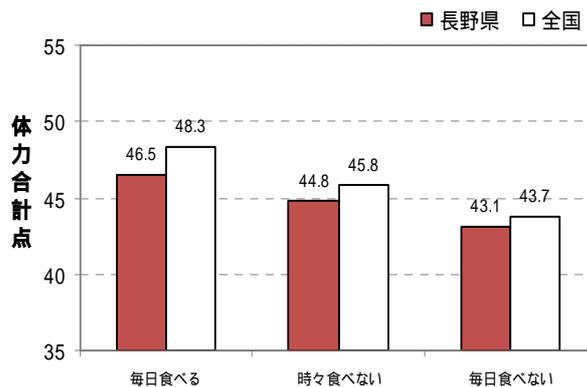
中学校男子



小学校女子



中学校女子



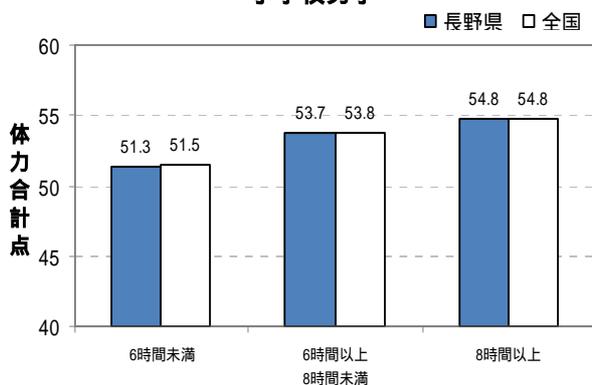
- ア 小・中学校男女とも、「毎日食べる」と回答した児童生徒の割合は、全国平均を上回っている。
- イ 概ね朝食を毎日食べている児童生徒ほど、体力合計点が高い傾向がみられる。

《睡眠時間》

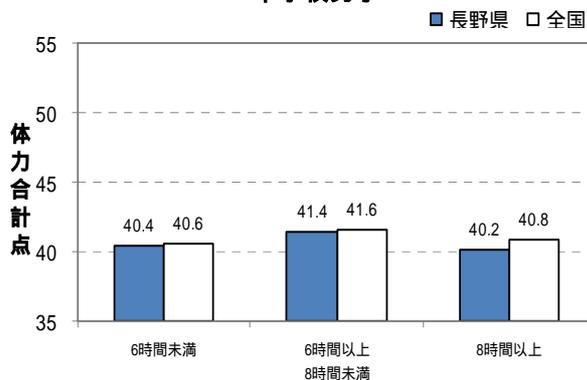
Q 8 1日の睡眠時間(%)		1.6時間未満	2.6時間 ~8時間	3.8時間以上	Q 9 1日の睡眠時間(%)		1.6時間未満	2.6時間 ~8時間	3.8時間以上
小学校男子	全国	6.1%	38.2%	55.7%	中学校男子	全国	10.3%	69.4%	20.3%
	長野県	5.1%	35.8%	59.1%		長野県	11.8%	71.0%	17.2%
小学校女子	全国	3.8%	38.6%	57.6%	中学校女子	全国	14.0%	72.3%	13.7%
	長野県	3.0%	35.2%	61.8%		長野県	16.0%	72.9%	11.1%

睡眠時間と体力合計点の関連

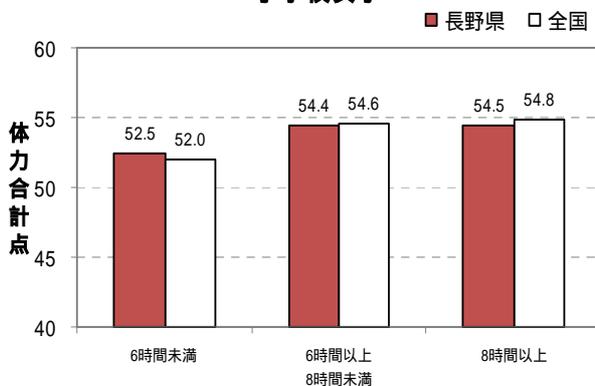
小学校男子



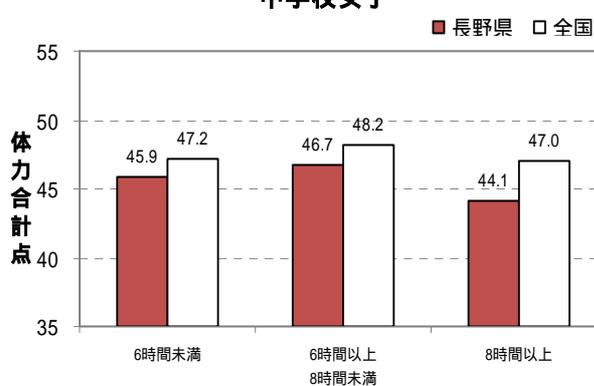
中学校男子



小学校女子



中学校女子

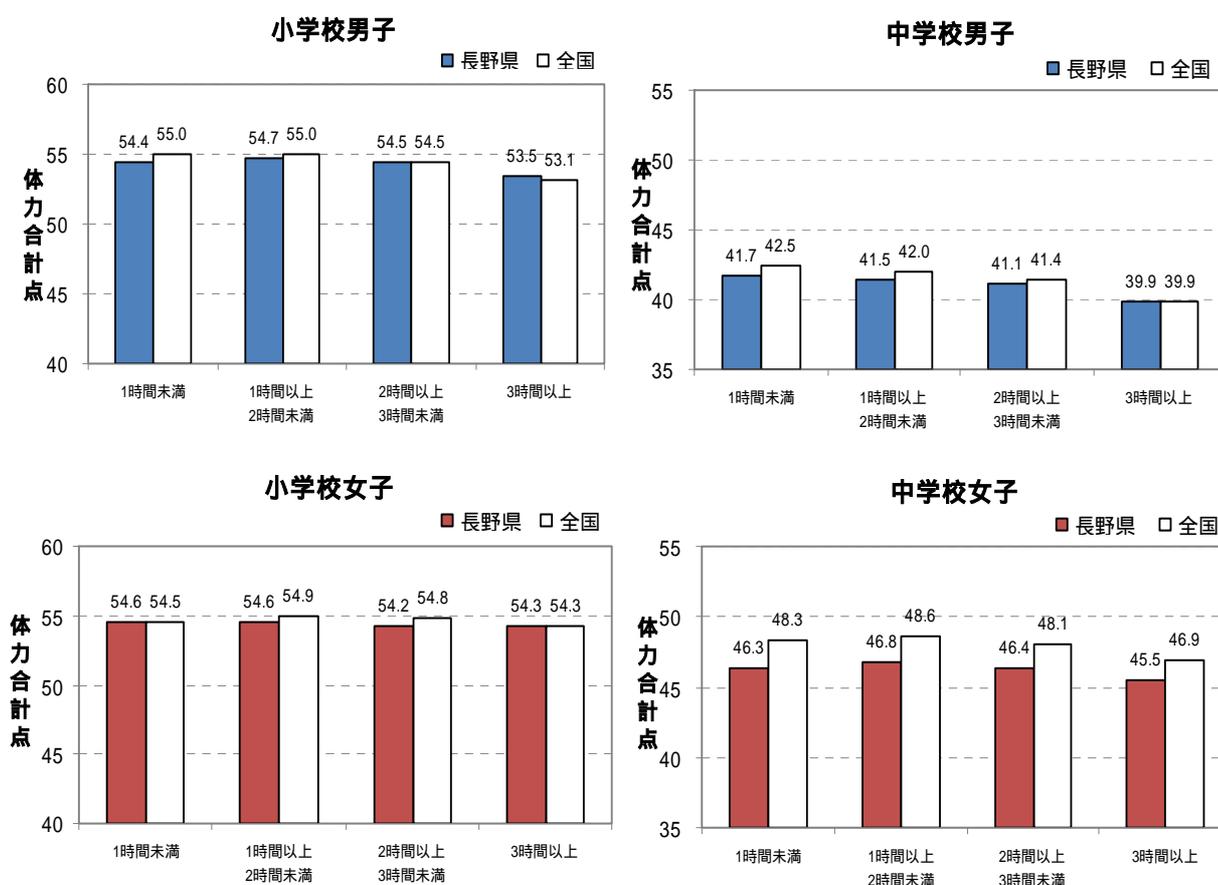


- ア 小学校では男女とも「8時間以上」の回答が最も多く、その割合は全国平均を上回っている。
「6時間未満」と回答した児童の割合は全国平均を下回っている。
- イ 中学校では男女とも「6～8時間」の回答が最も多く、その割合は全国平均を上回っている。
「6時間未満」と回答した生徒の割合も全国平均を上回っている。
- ウ 小学校男女とも、睡眠時間が長いほど体力合計点が高い傾向がみられる。

《テレビ視聴時間》

Q9 1日のテレビ視聴時間(%)		1. 1時間未満	2. 1時間～2時間	3. 2時間～3時間	4. 3時間以上	Q10 1日のテレビ視聴時間(%)		1. 1時間未満	2. 1時間～2時間	3. 2時間～3時間	4. 3時間以上
小学校男子	全国	14.2%	27.7%	24.9%	33.2%	中学校男子	全国	13.5%	30.3%	27.5%	28.7%
	長野県	15.3%	29.2%	25.2%	30.2%		長野県	16.6%	34.2%	25.8%	23.4%
小学校女子	全国	16.7%	29.8%	25.0%	28.5%	中学校女子	全国	12.0%	27.4%	28.2%	32.4%
	長野県	18.0%	31.3%	24.8%	26.0%		長野県	14.9%	29.5%	28.2%	27.3%

テレビ視聴時間と体力合計点の関連



ア 小学校女子、中学校男女では「1時間～2時間」の回答が最も多く、小学校男子は「3時間以上」の回答が最も多い。

イ 小・中学校男女とも「1時間～2時間」「1時間未満」と回答した児童生徒の割合が、いずれも全国平均を上回っており、全国平均よりテレビ視聴時間は短い傾向がうかがえる。

ウ 小学校の男子と中学校の男女では、テレビ視聴時間が「3時間以上」と回答した児童生徒は、それ以外と比較して、体力合計点が低い傾向がみられる。

運動習慣、生活習慣の結果から見える長野県の状況

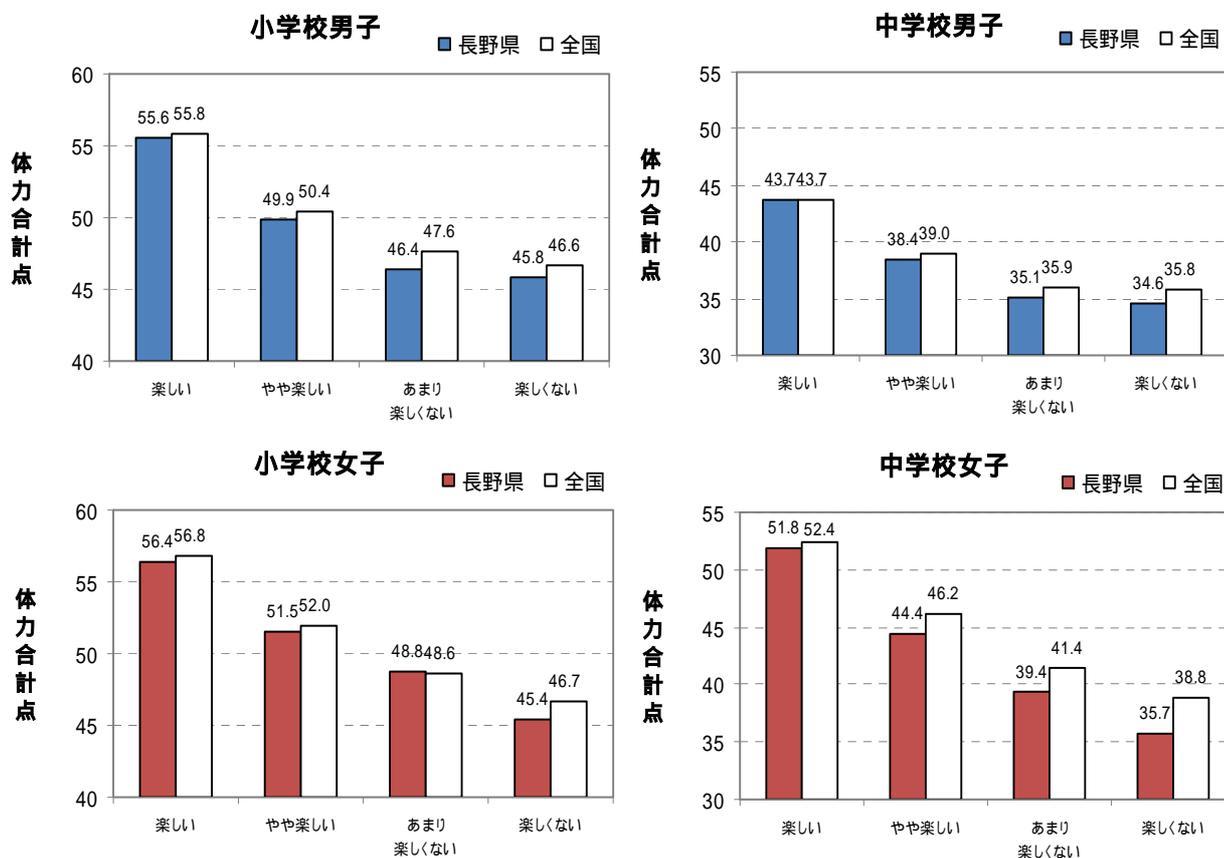
- 1 長野県の児童生徒は、1週間の総運動時間では、運動する子としない子の二極化が中学校で見られる。小学校も含め、特に女子の運動離れの傾向がみられる。
- 2 運動が習慣化していたり1日の運動時間が長かったりする児童生徒ほど、体力合計点が高い傾向がみられる。
- 3 食事の有無、睡眠時間、テレビ視聴時間で見た場合、長野県の児童生徒は全国に比べ、基本的な生活習慣を身につけている傾向がみられる。
- 4 総じて基本的な生活習慣を身につけている児童生徒は、体力合計点が高い傾向がみられる。

2 体育・保健体育の授業に関する意識（児童生徒質問紙調査）

（1）楽しさに関する意識

Q17 体育の授業楽しい(%)		1. 楽しい	2. やや楽しい	3. あまり 楽しくない	4. 楽しくない	Q19 体育の授業楽しい(%)		1. 楽しい	2. やや楽しい	3. あまり 楽しくない	4. 楽しくない
小学校男子	全国	73.6%	21.3%	3.7%	1.4%	中学校男子	全国	54.8%	35.4%	7.0%	2.8%
	長野県	77.7%	18.9%	2.5%	0.8%		長野県	57.0%	35.3%	5.9%	1.8%
小学校女子	全国	60.9%	31.0%	6.3%	1.8%	中学校女子	全国	40.6%	42.6%	12.5%	4.2%
	長野県	64.0%	29.3%	5.3%	1.4%		長野県	38.8%	45.1%	12.8%	3.3%

「体育（保健体育）の授業は楽しいですか」についての回答と体力合計点との関連



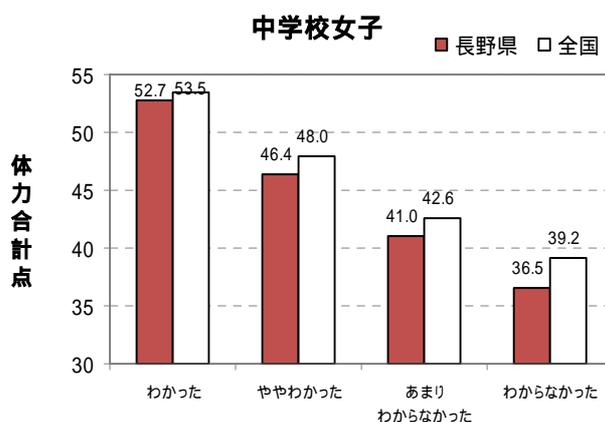
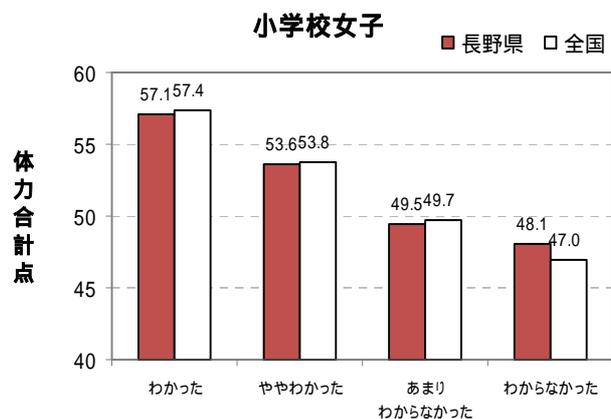
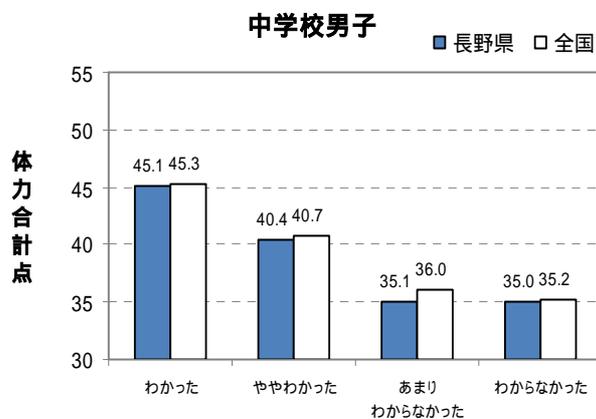
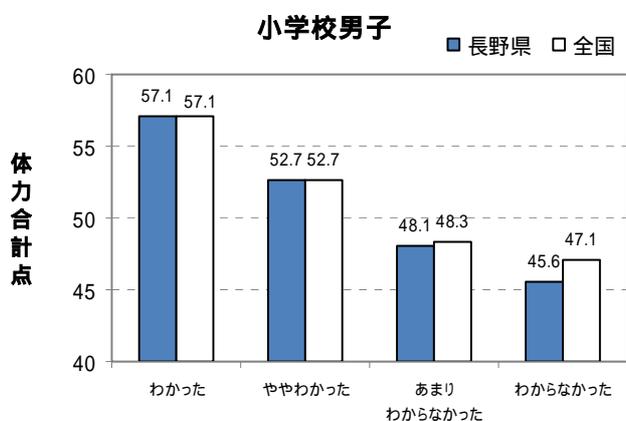
ア 小・中学校男女とも、体育（保健体育）の授業が「楽しい」および「やや楽しい」と回答した児童生徒の割合が、全国平均に比べて高い。

イ 回答が肯定的になるにつれて、体力合計点が高くなる傾向がみられる。

(2) からだの動かし方やコツに関する理解

Q18 体の動かし方、コツ(%)		1. わかった	2. やや わかった	3. あまり わからなかった	4. わからな かった	Q20 体の動かし方、コツ(%)		1. わかった	2. やや わかった	3. あまり わからなかった	4. わからな かった
小学校男子	全国	45.9%	42.4%	9.0%	2.7%	中学校男子	全国	30.6%	53.5%	12.4%	3.5%
	長野県	46.9%	43.1%	8.1%	1.9%		長野県	31.4%	55.1%	10.9%	2.6%
小学校女子	全国	37.9%	50.0%	10.0%	2.1%	中学校女子	全国	20.6%	58.1%	16.9%	4.3%
	長野県	37.8%	51.4%	9.0%	1.8%		長野県	19.1%	60.1%	17.6%	3.2%

「体育（保健体育）の授業では、体の動かし方や、うまくなるためのコツがわかりましたか」についての回答と体力合計点との関連

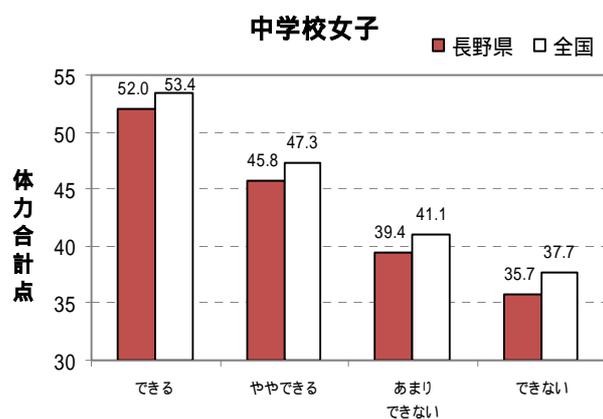
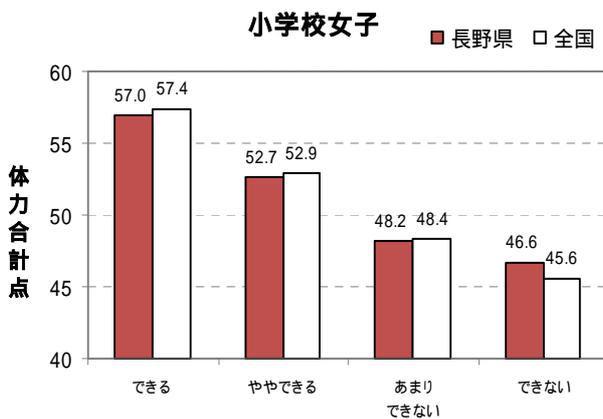
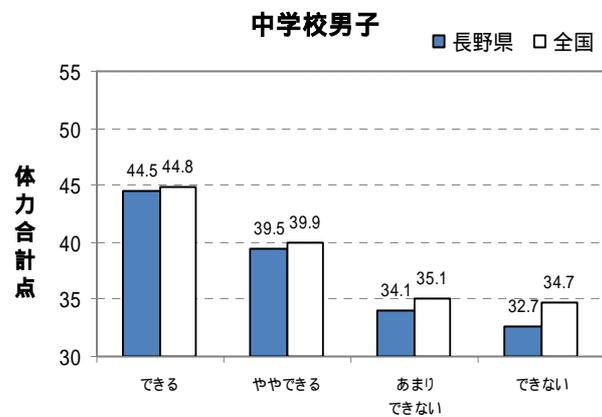
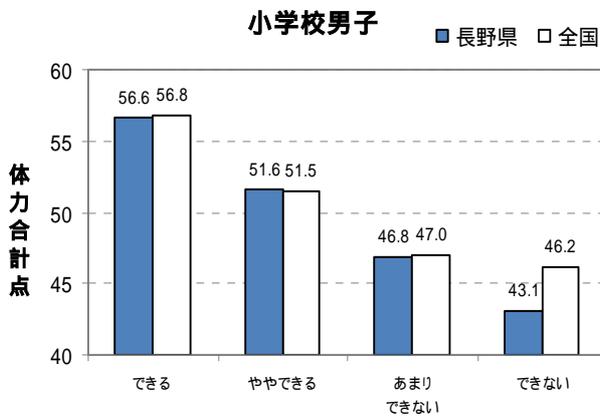


- ア 小・中学校男女とも、体育（保健体育）の授業では、体の動かし方やコツが「わかった」および「ややわかった」と回答した児童生徒の割合が、全国平均に比べて高い。
- イ 回答が肯定的になるにつれて、体力合計点が高くなる傾向がみられる。

(3) 運動やスポーツの上達に関する意識

Q19 今までよりも うまくできる(%)		1. できる	2. ややできる	3. あまり できない	4. できない	Q21 今までよりも うまくできる(%)		1. できる	2. ややできる	3. あまり できない	4. できない
小学校男子	全国	58.1%	33.9%	6.3%	1.7%	中学校男子	全国	41.0%	47.2%	9.3%	2.5%
	長野県	60.3%	32.6%	5.9%	1.2%		長野県	43.6%	46.6%	8.1%	1.7%
小学校女子	全国	48.3%	42.3%	7.9%	1.5%	中学校女子	全国	27.8%	54.4%	14.6%	3.2%
	長野県	49.3%	42.3%	7.2%	1.1%		長野県	27.3%	55.9%	14.5%	2.3%

「体育（保健体育）の授業では、運動やスポーツが今までよりもうまくできるようになりましたか」についての回答と体力合計点との関連



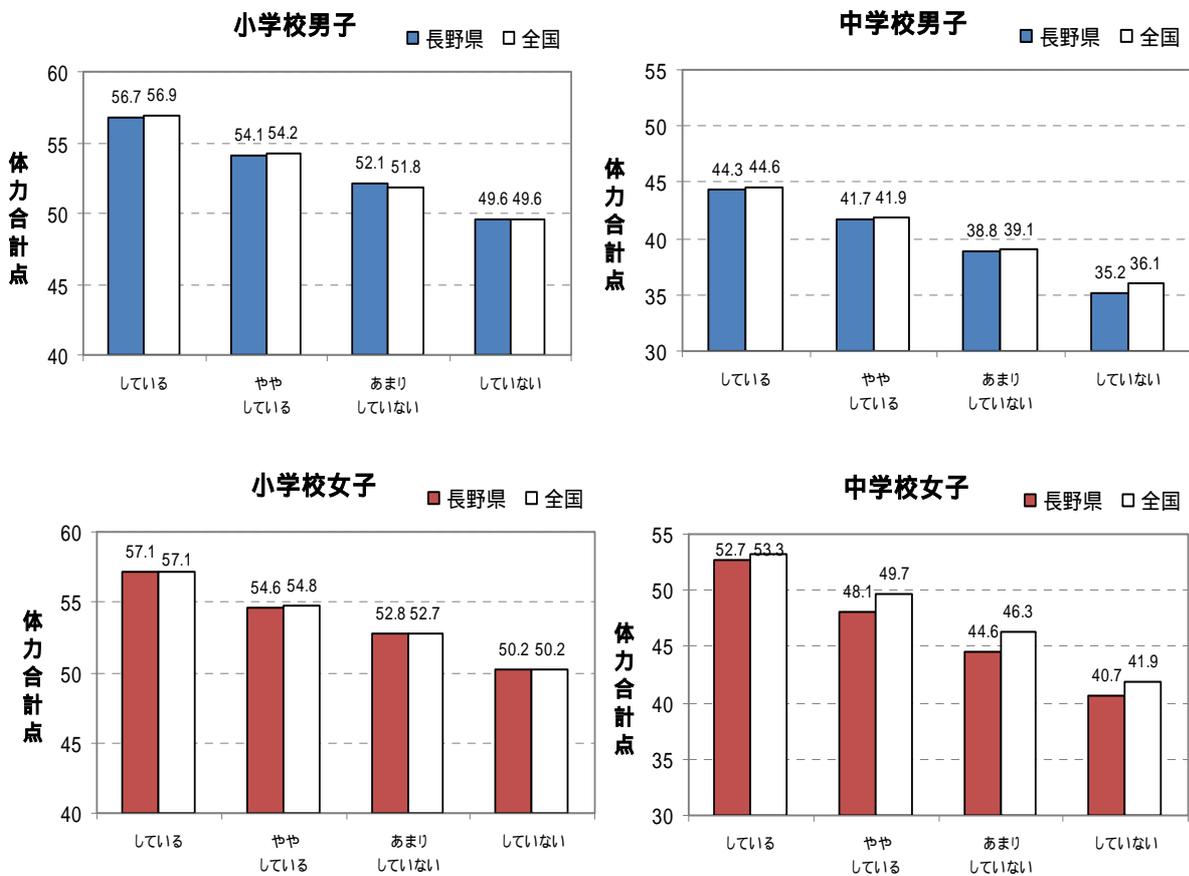
ア 小・中学校男女とも、体育（保健体育）の授業では、運動やスポーツが、今までよりもつまく「できる」および「ややできる」と回答した児童生徒の割合が、全国平均に比べて高い。

イ 回答が肯定的になるにつれて、体力合計点が高くなる傾向がみられる。

(4) 体育の授業以外での実施状況

Q20 学習した運動を授業以外でしている(%)		1. している	2. ややしている	3. あまりしていない	4. していない	Q22 学習した運動を授業以外でしている(%)		1. している	2. ややしている	3. あまりしていない	4. していない
小学校男子	全国	38.4%	29.4%	20.4%	11.8%	中学校男子	全国	32.7%	29.8%	24.5%	13.0%
	長野県	39.7%	30.0%	19.6%	10.7%		長野県	32.7%	31.5%	24.3%	11.5%
小学校女子	全国	30.6%	37.4%	22.4%	9.6%	中学校女子	全国	20.8%	28.6%	31.2%	19.4%
	長野県	27.7%	37.8%	24.8%	9.7%		長野県	18.6%	28.9%	32.9%	19.5%

「体育（保健体育）の授業で学習した運動やスポーツを、授業以外のときにしていますか」についての回答と体力合計点との関連



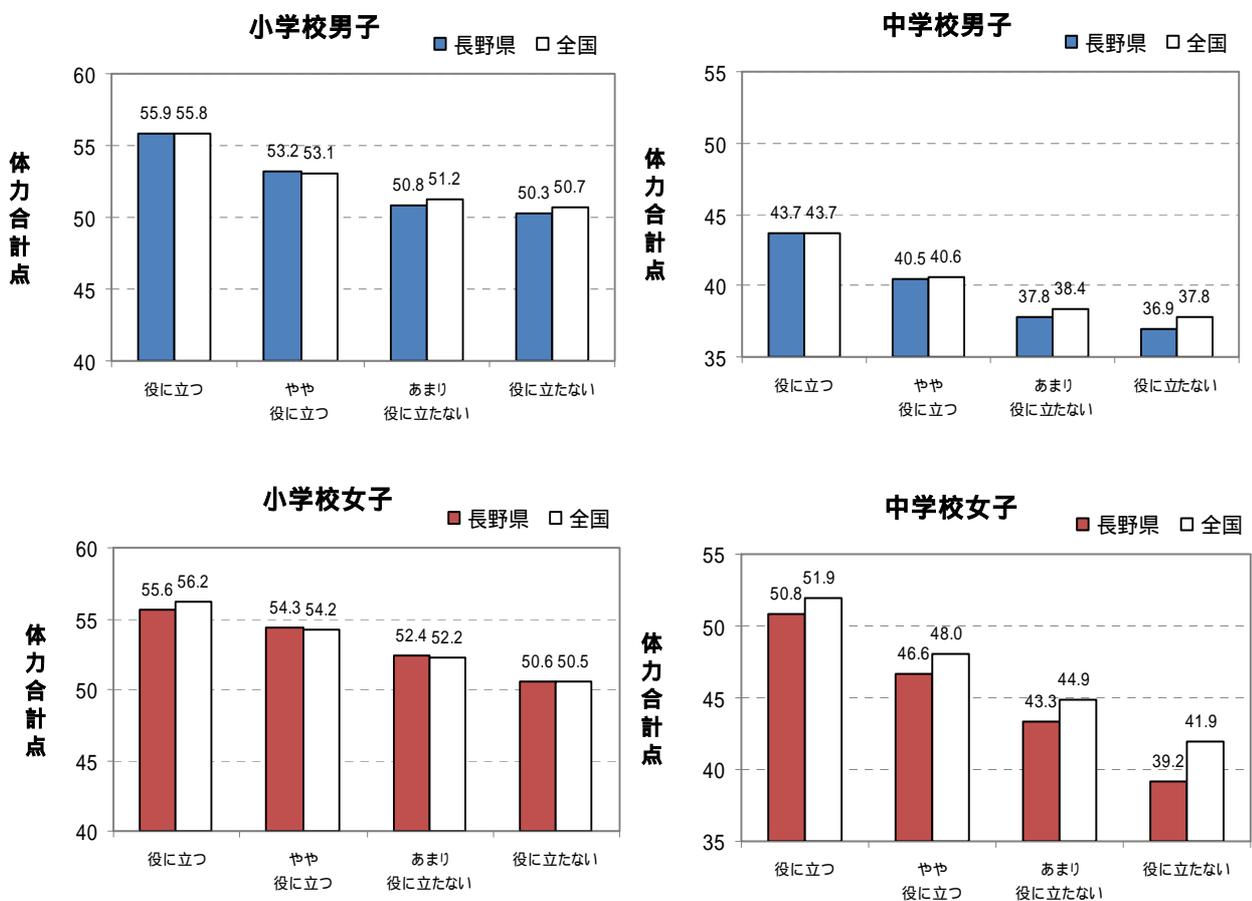
ア 小学校男子と中学校男子では、体育（保健体育）の授業で学習した運動やスポーツを、授業以外のときに「している」または「ややしている」と回答した児童生徒の割合が、全国平均よりも高い。小学校女子と中学校女子では、授業以外のときに「あまりしていない」および「していない」と回答した児童生徒の割合が、全国平均よりも高い。

イ 回答が肯定的になるにつれて、体力合計点が高くなる傾向がみられる。

(5) 学んだことの将来への期待感

Q21 将来役に立つ(%)		1.役に立つ	2.やや役に立つ	3.あまり役に立たない	4.役に立たない	Q23 将来役に立つ(%)		1.役に立つ	2.やや役に立つ	3.あまり役に立たない	4.役に立たない
小学校男子	全国	51.8%	33.7%	9.8%	4.7%	中学校男子	全国	37.4%	43.9%	13.4%	5.3%
	長野県	50.4%	36.8%	9.4%	3.4%		長野県	36.0%	46.8%	12.5%	4.7%
小学校女子	全国	41.2%	42.0%	12.6%	4.1%	中学校女子	全国	23.4%	49.5%	20.6%	6.6%
	長野県	39.9%	43.9%	12.6%	3.6%		長野県	21.5%	51.4%	21.5%	5.6%

「体育（保健体育）の授業で学習したことは、将来役に立つと思いますか」についての回と体力合計点との関連



ア 小・中学校男女とも、体育（保健体育）の授業で学習したことは、将来「役に立つ」または「やや役に立つ」と回答した児童生徒の割合が、全国平均に比べて同じまたは高い。ただし、「役に立つ」で見た場合、小・中学校男女とも、全国平均に比べて低い。

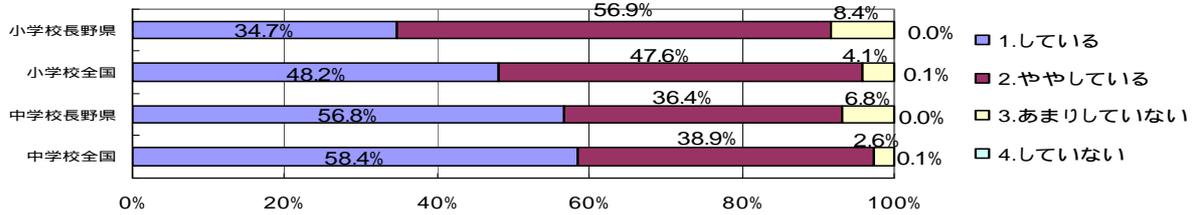
イ 回答が肯定的になるにつれて、体力合計点が高くなる傾向がみられる。

体育・保健体育の授業に対する意識（児童質問紙）の結果から見える長野県の状況

- 1 長野県の児童生徒の体育・保健体育の授業に対する意識は、全国と比べても概ね肯定的であるといえる。しかし、「授業以外での運動実施」「学んだことの将来への期待感」について、やや低い傾向がみられる。
- 2 小・中学校男女とも、回答が肯定的になるにつれて、体力合計点が高くなる傾向がみられた。体育・保健体育の授業では「授業の楽しさ」「体の動かし方や運動のコツがわかる」「うまくできるようになる」「授業以外での運動実施」「学んだことの将来への期待感」などを大切にした授業づくりが体力向上に影響していることがわかる。

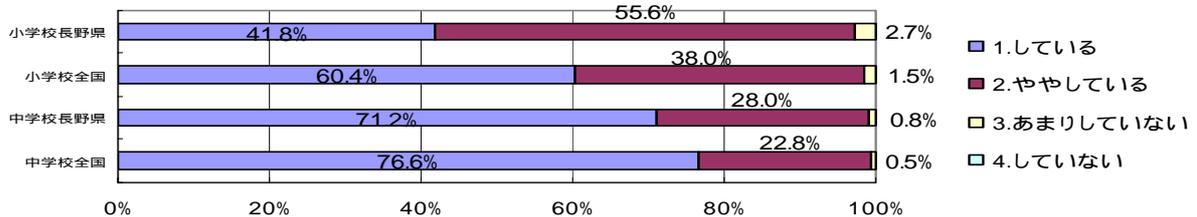
3 体育・保健体育の授業に関する取組（学校質問紙調査）

体育（保健体育）の授業では、体の動かし方や運動の仕方を理解させながら、運動ができるようになるための指導を重視していますか。



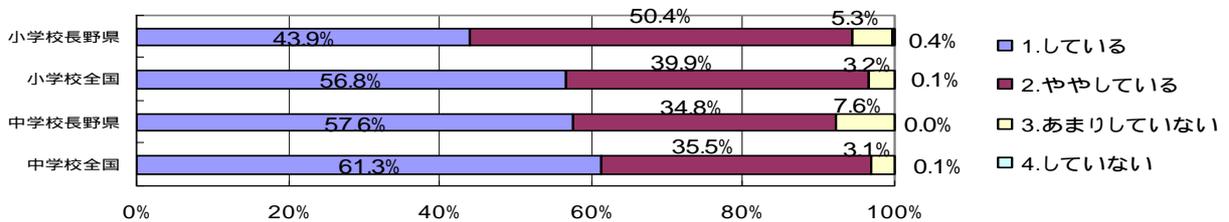
ア 小学校よりも中学校で、運動ができるようになるための指導を重視「している」と回答している学校の割合が高い。また、全国と比べて、重視「している」と回答している学校の割合は低い。

体育（保健体育）の授業では、児童（生徒）の適切な運動量が確保できるように指導を工夫していますか。



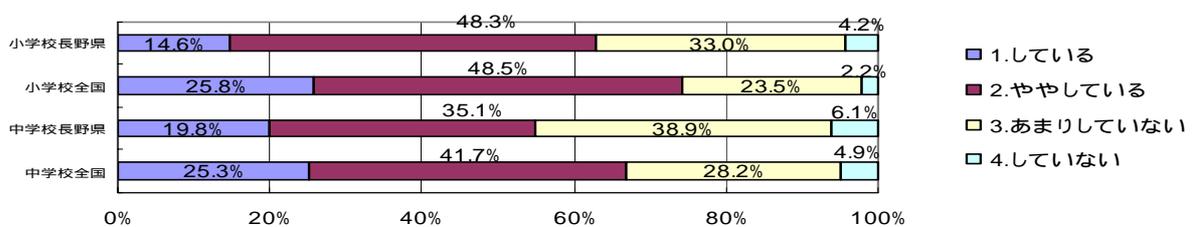
ア 小学校よりも中学校で、適切な運動量が確保できるように指導「している」と回答している学校の割合が高い。また、全国と比べて、指導「している」と回答している学校の割合は低い。

体育（保健体育）の授業では、発育発達や個人差を踏まえた指導に配慮していますか。



ア 小学校よりも中学校で、発育発達や個人差を踏まえた指導に配慮「している」と回答している学校の割合が高い。また、全国と比べて、配慮「している」と回答している学校の割合は低い。

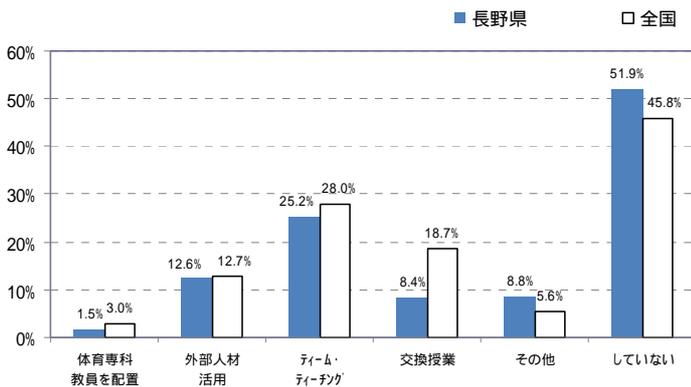
体育（保健体育）の授業では、運動しない児童（生徒）に運動を習慣化させるための取組をしていますか。



ア 小学校よりも中学校で、運動しない児童に運動を習慣化させるための取組を「している」と回答している学校の割合が高い。しかし、「ややしている」も含めると小学校の方が割合は高い。

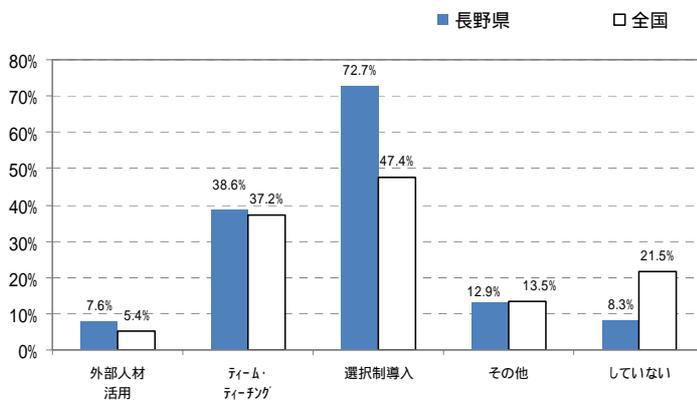
イ また、全国と比べて、取組を「あまりしていない」または「していない」と回答している学校の割合は高い。

小学校 体育の専門性などを重視した指導を実施していますか。(複数回答可)



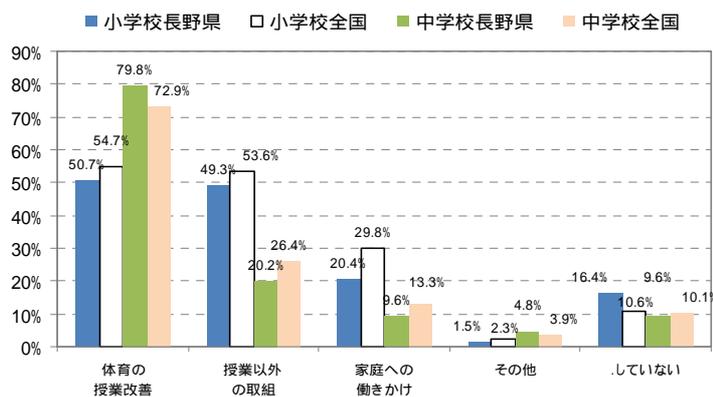
体育の専門性を重視した指導で、「体育専科教員の配置」「外部人材の活用」「チームティーチング」では、全国と比べ大きな差はみられないが、「交換授業」を実施している学校の割合が全国と比べて低い。また、全国と比べ、体育の専門性などを重視した指導を「していない」と回答した学校の割合がやや高い。

中学校 保健体育の指導の充実を図るための取組をしていますか。(複数回答可)



保健体育の指導の充実を図るための取組で、「選択制導入」をあげている学校の割合が、全国と比べて高い。また、指導の充実を図るための取組を「していない」と答えた学校の割合が全国と比べ低い。

学校において、平成 20 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえ、どのような取組をしましたか。(複数回答可)



平成 20 年度の調査結果を踏まえた取組で、小中学校とも「体育の授業改善」と回答した学校の割合が最も高い。中学ではそれがより顕著である。小学校では、「授業以外の取組」「家庭への働きかけ」と回答した学校の割合が中学校に比べ高い。

体育・保健体育の授業に関する取組(学校質問紙)の結果から見える長野県の状況

- 1 体育・保健体育の授業では、長野県は「運動ができるための指導」「運動量の確保」「個人差を踏まえた指導」で、「している」または「ややしている」と回答した学校の割合は、小・中学校ともに全国と比べ大きな差は見られない。ただし、「している」と回答している割合が全国と比べて総じて低い傾向にある。また、中学校に比べ小学校でその傾向がみられる。

今後の対応

1 体力向上に関する基本的な考え方

今回の調査から、長野県の子どもたちの運動習慣に関わる実態として、身体を動かす機会が少なく、総じて運動離れの傾向が続いていることが明らかとなった。

長野県教育委員会としては、子どもたちに身体を動かす機会を与え、運動の楽しさを味わわせ、自ら身体を動かす習慣を身につけさせ、その結果として、体力向上を図っていききたい。

2 体力向上に向けての取組

(1) 調査結果の伝達

今回の調査結果を、市町村教育委員会、PTA連合会、校長会、体育主任会、全県指導主事会議等で報告する機会をつくり、現状と課題を認識してもらう。これにより、子どもの体力問題への関心を、学校を中心として、家庭や地域にも広げ、様々な場での意見交換を通して具体的な取組について検討をしていく。

(2) 体力向上施策に関わって

身体を動かす機会の提供

ア 長野県のホームページを通して学校で取り組める多様な運動を紹介し、友達と関わりながら記録に挑戦することを通して、身体を動かす機会を提供していく。

運動の楽しさを体感できる環境づくり

ア 各学校において、新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくりに向けて、体育主任をはじめ学校の担当者を対象にした研究協議会を開催する。その中で、今回の調査で明らかとなった体育・保健体育の授業に対する児童生徒の意識や、学校の取組の傾向を踏まえ、運動の楽しさを味わわせる指導とともに、「できるようにする指導」「運動量の確保」「個人差への配慮」「運動を習慣化」などについて見返し、各学校において授業改善につなげられるようにする。

イ 体育・保健体育の授業や運動部活動において、地域指導者の活用を促し、専門的な知識や技術の向上が図れるようにする。

ウ 指導者や保護者を対象として、児童期の運動（遊び）の大切さの周知と具体的な運動の照会をするために県下で講習会を開催し、指導者の養成を進めていく。

エ 今回の調査結果と通常行ってきた新体力テストの結果との分析と考察を進めるとともに、体力向上のための指導者用の資料とするために、小学校を対象とした運動プログラムを収めたDVDの作成・提供をし、活用をすすめていく。

運動の習慣化への支援

ア 小・中・高校において、各校の体力向上プランに児童生徒の体力・運動能力の実態を元に数値目標を設け、達成できるように指導するとともに、各校の取組を紹介したり情報交換を行ったりしながら、体力向上のための取組が進められるようにする。特に運動の二極化がみられ、体力・運動能力について低い傾向が続いている中学校女子について、体育・保健体育の授業改善を中心に生活の中に運動を取り入れていくための方策を検討していく。

イ 学校と家庭が連携して児童生徒の体力向上の推進に当たることができるよう、体力テスト個人票（児童生徒活用シート）等の活用を図る。